

企業情報

両国屋豆腐店  
業種：小売業  
従業員規模：1～10人

課題分類

経営判断の効率化・高度化  
生産プロセスの改善  
社内の働き方改革

DX実践の目的

バックオフィス

# クラウドシステム導入で時間と利益を確保！薄利多売から脱却

課題内容

- 豆腐や厚揚げなど約30品目を扱っているが、生産管理と経理に課題があった。
- 昔ながらの家族経営で、生産管理も経理もすべてアナログで手間がかかっていた。薄利多売の豆腐業界で利益を確保できず未来が見えなかった。
- 毎朝30枚もの発注書を見ながら商品の必要数を数え、何をいくつ作るか「正」の字を書いて仕込み数量と生産量を決めていた。
- 高齢の母親が経理を引き受け、レシートを見ながら手打ちする作業を繰り返していた。

実施概要

- クラウド型ノーコードツールで生産から納品までを管理できる生産管理システムを作成した。
- クラウド型会計サービスを導入し、レシート集計の手打ち作業を自動化した。

効果

- 事務作業を年間600時間削減することに成功した。
- 生産計画の時間を大幅に短縮でき、店の経営を考える余裕ができ、付加価値の高い商品を提供できるようになり、生産量を3割以上減らしつつ粗利を確保できるようになった。
- クラウド型会計サービスにより会計作業がネットで完結できるようになった。

苦労話

導入当初は本当に効果が出るのか、無駄な費用の支出はやめた方がいいのではないかとモヤモヤしながら運用していたが、約半年後に導入効果を実感した。

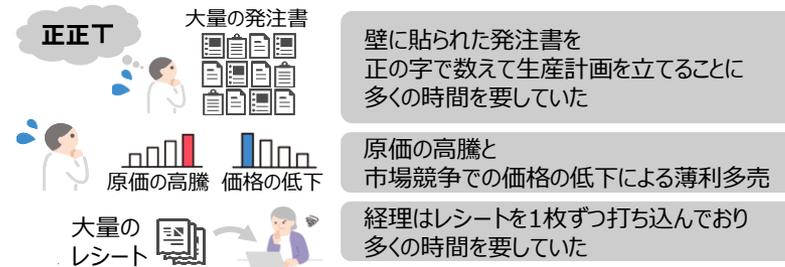
ITツール

【使用ツール】kintone <https://kintone.cybozu.co.jp>  
【取り扱い企業】サイボウズ株式会社 <https://cybozu.co.jp>  
【ツール概要】ノーコードで業務アプリを作成できるクラウドサービス

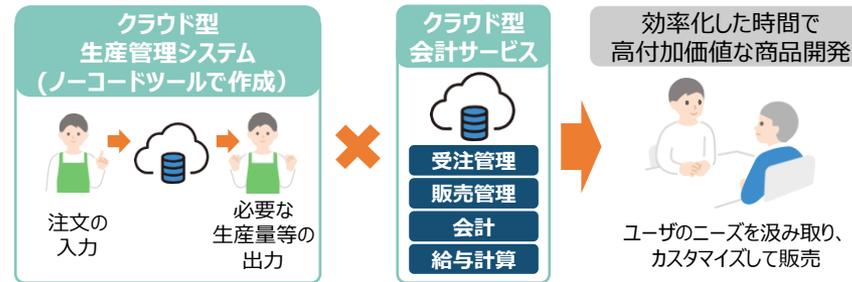
Point

- 生産管理と経理をクラウド化、事務作業を年間600時間削減！
- 余剰時間で経営と向き合うことができ、付加価値の高い商品提供が可能に
- 生産量を3割以上減らしつつ粗利を確保

【導入前】手書きによる手間と薄利多売に振り回される経営



【導入後】ツール導入により業務を効率化し新しい商品開発が可能に



クラウド型システム間のデータ共有で会計処理も効率化

600時間/年の効率化

薄利多売からの脱却

補助金活用

—

【使用ツール】freee会計 <https://www.freee.co.jp>  
【取り扱い企業】フリー株式会社 <https://www.freee.co.jp>  
【ツール概要】オンライン上で財務データを管理し、会計業務の効率化を実現